

令和 6 年度定期総会開催



6月8日(土)中央公民館第1ホールにて令和6年度定期総会が開催されました。

総会は竹迫副会長の開会の言葉で始まり、小川会長からは「本年は当会の創立25周年になります。記念事業は特別なものはやらずに、それぞれの自主事業の中で25周年を意識して内容の充実や規模の拡大を図っていきます。また、高齢化が進み、それぞれの加盟団体でも活動の継続が難しくなっています。文団連の自主事業でもスタッフとして活動出来る人が少なくなっていており、事業のあり方も検討しなくてはならなくなっています。持続可能な文団連であるためにも、各団体に於ける若返りや後継者育成に力を入れていただきたい」との挨拶があり、続いて来賓の小谷野 剛狭山市長、太田博希狭山市議会議長、大野松茂顧問からご挨拶の言葉をいただきました。また、田中淳一市民部長にもご来賓として参席いただきました。

定足数35人に対し、出席33人、委任状10人で総会は成立。西塚和音理事を議長に選出して議事に入りました。まず令和5年度の事業報告、続いて決算・監査報告が挙手で承認され、次に、副会長の交代人事の提案がなされ、塩野谷延夫常任35理事の副会長就任および前副会長の鈴木 強氏の常任理事就任が承認されました。続いて令和6年度の事業方針・重点項目・事業計画案と予算案の審議・承認が行われ、最後に塩野谷延夫新副会長の閉会の言葉で、総会は終了しました。

定足数35人に対し、出席33人、委任状10人で総会は成立。西塚和音理事を議長に選出して議事に入りました。まず令和5年度の事業報告、続いて決算・監査報告が挙手で承認され、次に、副会長の交代人事の提案がなされ、塩野谷延夫常任35理事の副会長就任および前副会長の鈴木 強氏の常任理事就任が承認されました。続いて令和6年度の事業方針・重点項目・事業計画案と予算案の審議・承認が行われ、最後に塩野谷延夫新副会長の閉会の言葉で、総会は終了しました。

●令和6年度 役員・監査・顧問

会 長：小川 忠史 副会長：塩野谷延夫・竹迫ミナミ
会計長：張替 絹子 事務局長：藤寿 紫峰
常任理事：五十嵐牧子・小川 豊子・鈴木 強・中村 伶華・吉田 京子
監 査：土田登喜子・吉田 文枝 顧 問：大野 松茂

●令和6年度基本方針

生き生きとした文化人が狭山にあふれることを目標とする。また市および関係各団体と協働し、狭山市が優れた文化都市になることを目指す。

《重点項目》

1. 渉外委員会を中心として、会員の拡大を推進する。
2. 所属団体の活性化を図る。
3. 狭山市の文化環境を豊かにする。
4. 自主事業の発展的継続を図る。
5. 狭山文化の掘り起こしと普及を進める。